

はじめに

1 まずはかゆみを知ろう!  
目次へ戻る2 かゆみを採点しよう!  
目次へ戻る3 かゆみをやっつけよう!  
目次へ戻る

このページを印刷する (PDF:123KB)

## ③ かゆみをやっつけよう

## (1) 強いかゆみがある時の外用療法 (ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましょう)

## 12. プロトピック軟膏の副作用

プロトピックはステロイドホルモンではありません。ですから、ホルモン作用による副作用(皮膚の萎縮、血管拡張、多毛など)がないのが大きな利点です。しかし、塗ったところがヒリヒリしたり、ほてったりするのが難点です。最も多い副作用は、塗ったところにきびや毛嚢炎が出やすいことです。また、「とびひ、みずむし、ヘルペス、ミズイボがまれに悪化」することがあります。

プロトピックの説明書には、リンパ腫に関する記載があります。前に書いたように、体重10kgあたり、1回1g以内、1日2回までという使用量の制限を守ってください。この使用量を守っていれば、プロトピックが継続して血液の中に入ることはありませんので、リンパ腫になることを気にする必要はありません。必ず、使用量の制限を守りましょう。

また、説明書には「プロトピック軟膏を塗った後に日光にあたらないようにしてください」と書いてあります。普通の生活程度の日光は気にする必要はありません。海水浴、遠足、運動会などのように過度に日光にあたる場合には、その日は塗らないでください。

[<< 前のページへ](#)[次のページへ >>](#)